

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会 主催

講演会



平和を願い、今考える

「アジア・太平洋戦争期における

戦争指導と民衆」

講師 吉田 裕氏（一橋大学教授）



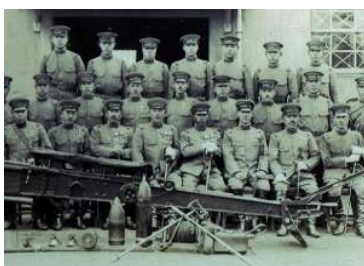
アジア・太平洋戦争は、中国との戦争が終わらないまま、より広い範囲で戦われ、大きな戦禍といまだ癒えない傷跡を残しました。その戦争指導はいかに行なわれ、そして民衆はいかに戦争と戦時体制に動員されていったのでしょうか。柏飛行場のあった柏からは、多くの将兵が外地に出征し、軍需工場では多くの若者が働きました。不戦の誓いを新たに、戦争の時代を振り返りつつ、日本近現代政治史の第一人者である吉田裕氏に語っていただきます。

日時 4月22日(日)午後1時30分～(午後1時開場)

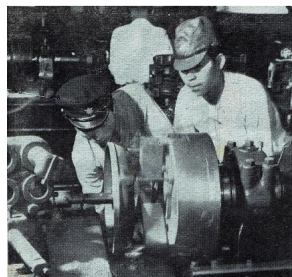
会場 柏中央公民館 講堂 柏市柏5丁目8-12(教育福祉会館内 市役所となり)

資料代 300円 当日受付可。会場付近で柏周辺の戦争遺跡写真なども展示する予定。

お問い合わせ先 04-7131-3036 岸



大砲の前に集合した砲兵隊の将兵



工場に勤労働員された学生



秋水地下燃料貯蔵庫(柏市花野井)

*最近市内他の場所でも発見されています

講師のご紹介

吉田裕氏は、現在一橋大学社会学部教授で、日本近現代政治史、軍事史がご専門。故・藤原彰氏(一橋大学名誉教授)に師事され、「アジア・太平洋戦争」(岩波新書)、「昭和天皇の終戦史」(同)など著書多数あり。